

第5回宇都宮市東部地域渋滞対策協議会

(栃木県宇都宮市東部地域における新たな基幹交通の導入に伴う道路交通マネジメント)

LED表示板設置の社会実験計画案について

1. 令和5年度の社会実験の対象範囲について
2. 通勤者へのアンケート調査について
3. LED表示板設置の社会実験計画案について
4. 今後について

1 令和5年度の社会実験の対象範囲について

■対象範囲



2 通勤者へのアンケート調査について

- 過年度の取り組み及びLRT導入による自家用車等通勤への影響について確認するため、令和5(2023)年に工業団地従業員を対象にアンケートを実施。

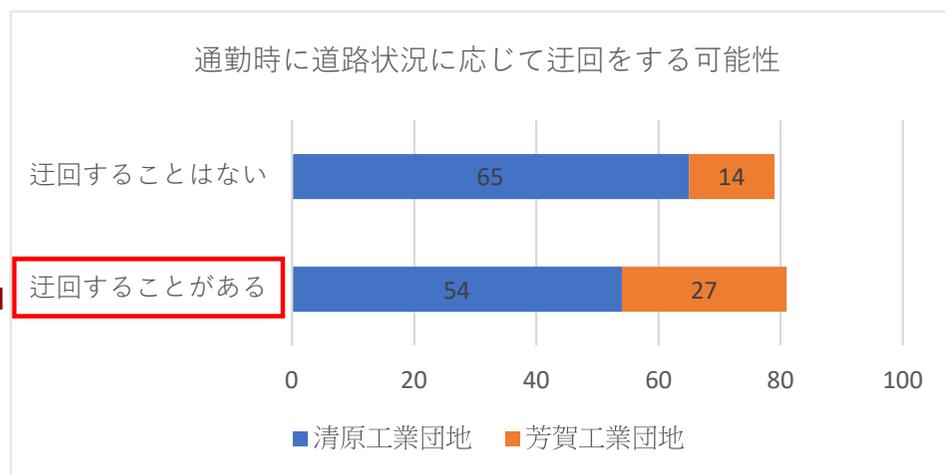
対象者	清原工業団地及び芳賀工業団地の従業員
実施方法	QRコードの配布によるWebアンケートでの回答
収集期間	清原：8月17日～8月31日、芳賀：8月4日～8月25日
回答者数	清原：170票、芳賀：53票

地図上の赤点線枠内を通勤で通過している従業員個人宛てに依頼

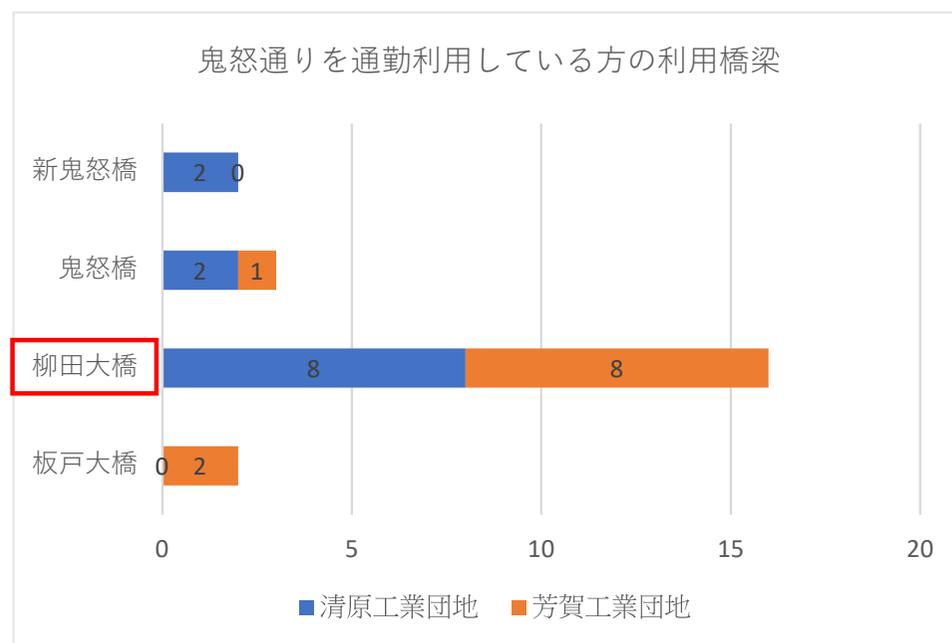
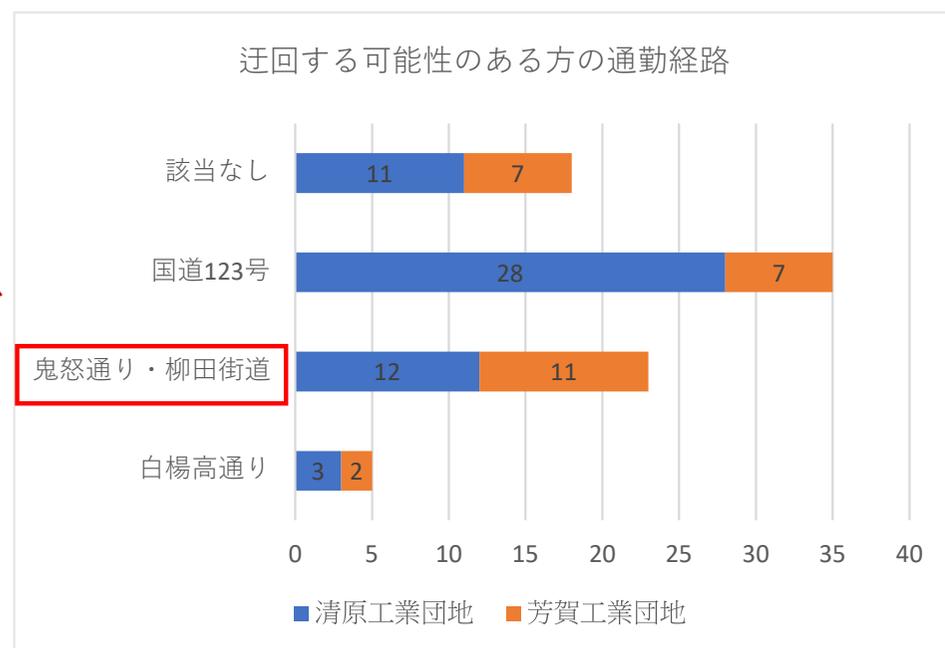


2 通勤者へのアンケート調査について

□ 通勤時の迂回検討について

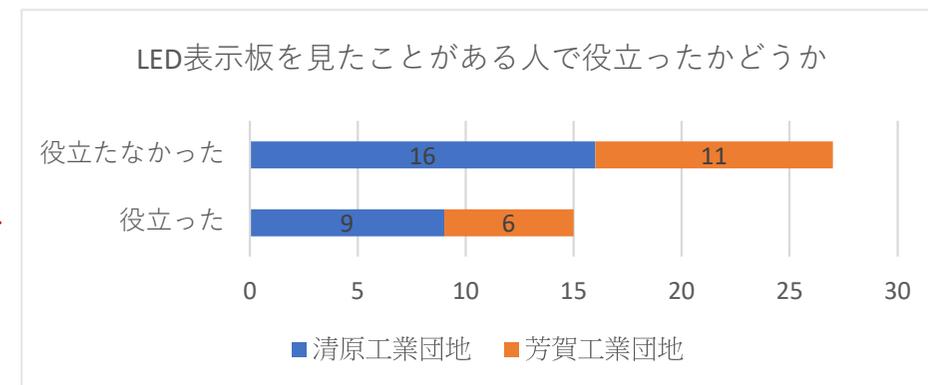
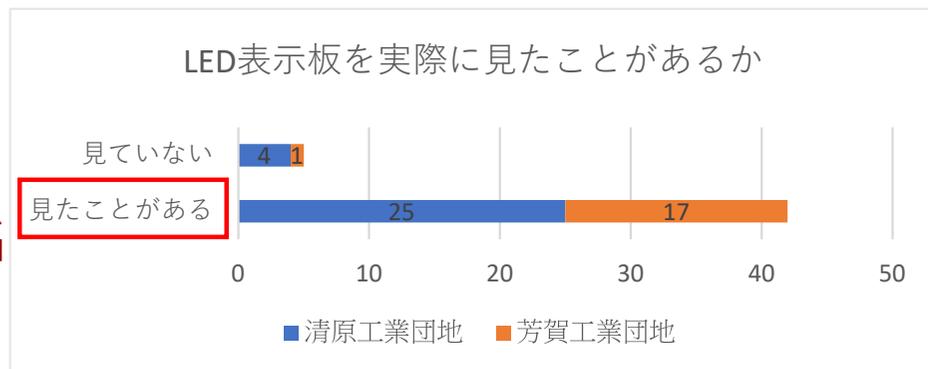
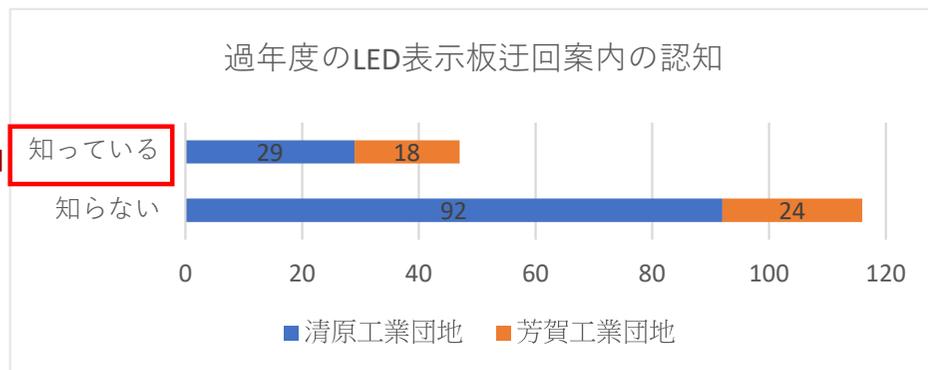


- 半数の方が迂回をすることがあると回答
- 最も迂回可能性の高い経路は国123号
(各工業団地で全体回答数に差があるため)
- 両工業団地の通勤者で迂回の可能性がある経路は 鬼怒通りかつ柳田大橋利用者



2 通勤者へのアンケート調査について

□ 過年度のLED表示板迂回案内について

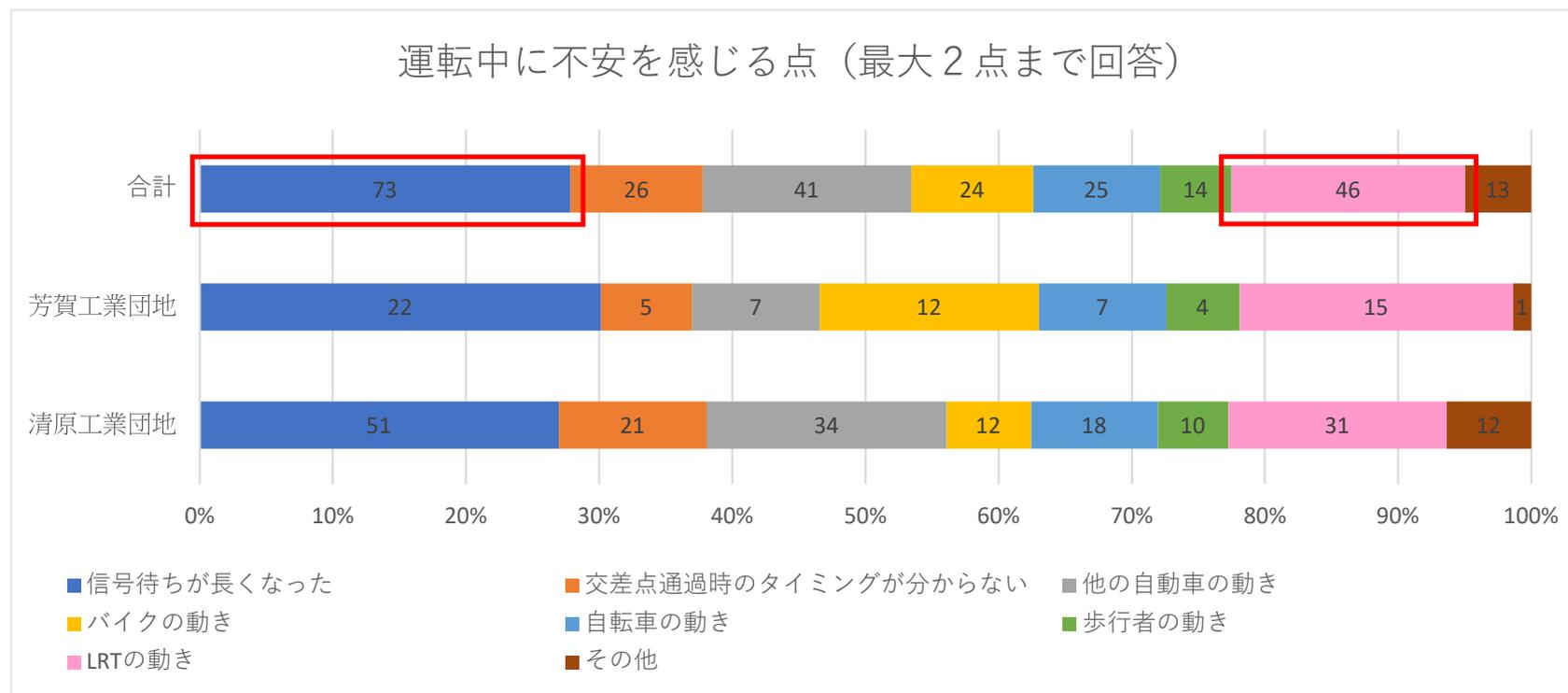


- 過年度の社会実験について、認知度が低く、役立たなかったとの意見が多い。
- 設置する場所や設置している箇所数などについて改善を求める意見が多い。

LED表示板の改善してほしい点(複数回答可)(全経路合計N=217)	
・表示の見やすさ	6人
・表示している情報内容のわかりやすさ	12人
・設置する場所	14人
・設置している箇所数	12人
・特になし	12人
・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する方面が違っていった:1人 ・分刻みのリアルタイム情報:1人 ・目的地別の情報提供:1人 ・もう少し大きなLEDにしてほしい:1人 ・迂回する道が無い:1人 ・表示した時間または改定した時間:1人 ・「鬼怒通りより20分」ではなく「ここから20分」といった表示にして欲しい:1人

2 通勤者へのアンケート調査について

□自動車通勤の方が運転中に不安を感じる点について



- LRT開業前（試運転中）の段階では、信号待ちに関して不安を感じている方が最も多い。
 - 2番目がLRTの動きに関する不安となっている。
- 混雑を避けたい方だけでなくLRTとの並走等を避けるために鬼怒通りを迂回している方も多いのではないか。

2 通勤者へのアンケート調査について

□ アンケート調査結果より

- 鬼怒通りは、両工業団地において渋滞時に迂回する可能性がある方の通勤経路
- LED表示板設置に関する周知不足、設置場所や箇所数の改善を求める意見あり
 - 社会実験前の事前周知の強化、設置数の増などを検討
- LRTの動き等に関して運転時に不安を感じている方もいる。

□ 今年度の社会実験の必要性について

- 過年度の結果からLED表示板での迂回誘導は一定の効果を確認。
- 一方、新たに導入されたLRTの動きに関して運転時に不安を感じる方もいる中、LED表示板での渋滞情報の提供だけで同様に平準化を図れるか確認が必要。

3 LED表示板設置の社会実験計画案について

● 設置位置

- 経路A：鬼怒通りと白楊高通り(泉が丘通り)との分岐から白楊高通り元今泉町交差点まで
- 経路B：鬼怒通りと白楊高通り(泉が丘通り)との分岐から鬼怒通り東宿郷交差点まで



● 運用期間

- ・ 令和 5 (2023)年12月 4 日(月)～令和 6 (2024)年 1 月26日(金)予定
- ・ 年末年始は休止予定

● 表示内容

- ・ 経路Aと経路Bの旅行時間を表示

● 改善点

- ・ 事前周知として各工業団地関係者へ案内を依頼
- ・ 迂回案内する箇所を限定的にわかりやすい案内の実施
- ・ LED表示板を目立たせるため立て看板を増設

あらかじめ指定した経路について直前の所要時間を計算し、仮設表示機に定期送信する。カーナビで経路案内をしていない車両にも周辺の交通情報を提供可能。



4 今後について

□今年度の取り組みの評価について

- ① LED表示板設置期間の交通量、旅行速度、旅行時間を、実施前と比較検証
- ② LED表示板設置期間後半から終了後にかけて、通勤利用者を対象とした事後のwebアンケートを実施予定。事前アンケートとの比較を行う。